

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン

2022. vol. **33**
Take Free

ハチクラ

ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部



夏は **ASHIRO**
Cycling!

- 08 八幡平に生きる人
- 10 食卓を彩る「八幡平レシビ」
- 12 八幡平あっちこち
- 14 ハチクラ通信
- 16 ピッキーと行く八幡平

ソフトクリームも
おいしいよ



1「ふうせつ花」の「豆乳ドーナツ(550円)」と「うの花
ドーナツ(550円)」「豆乳ワッフル(1個160円)はおみやげ
にも最適。全て税込。2おみやげに買った「豆乳ドーナツ」
を待ちきれずに食べる。3スイーツを食べてエネルギー
チャージ!「次はどこ? まだ走れるよ」。

4川の水面のきらめき、木々の緑が美しい。
5サイクリング中に猫と出会う。
6おしゃれで乗りやすいヤマハ電動アシスト自転車で「あしろグルチャリ」を
楽しもう。チャイルドシート付きの自転車も用意している。



JR花輪線荒屋新町駅の南にある白山踏切と白山神社。白山神社の赤い鳥居と立派な松が印象的。

あしろをまるごと満喫するサイクリング

車は一般的なシティタイプだから乗りこなしやすいと安心だ。
新安比温泉静流閣をスタートし、商店街を目指す。今も鹿角街道の宿場町だった頃の面影があり、「羽沢耕悦商店」や「羽沢製菓」「麴と味噌勝田屋」など、代々の味を守る老舗店が多い。荒屋新町駅を過ぎると、田園地帯が広がるのどかな雰囲気漂っている。あしろグルチャリのよいところは、先を急ぐ旅ではないことだ。車とも違う視点の風景が見えてくるのがいい。
白山神社から先は安比川沿いに自転車を走らせる。木々の緑と川の水音が心地よい。途中、「麴屋もとみや」でひと休み。あしろグルチャリには、この「麴屋もとみや」か「ふうせつ花」のソフトクリーム無料券がついてくる。電動アシスト自転車は、向かい風でも坂道でも疲れ知らず。これならば、帰りに櫻松神社にも寄れそう。その前に「ばなっしゅ」で腹ごしらえだ。

夏は

ASHIRO Cycling!

電動アシスト自転車で「あしろグルチャリ」

あしろグルチャリで
らくらくサイクリング

八幡平市荒屋新町商店街を電動アシスト自転車で巡る「あしろグルチャリ」。新安比温泉静流閣を発着とし、協賛店で支払った金額に応じてポイントが付き、お買い物をもらえるというもの。使用する電動アシスト自転

出かけた先で自転車を借りて、まちを巡ろう。いつも車で行くところを自転車に変えただけで、見える風景が変わり、新たな発見がたくさん得られる。その楽しさを体験できるのが「あしろグルチャリ」である。

あしろグルチャリ CYCLING MAP



桜松神社と不動の滝

八幡平市のワースポット。「桜松神社」の境内には、2本の木が根元と上で交わる「縁結びの木」があり、ご利益抜群！その先にある「不動の滝」は、むかし修験道の修行場。滝の音と木々の葉を揺らす風の音のみの静謐な空間で、心地よい雰囲気包まれている。

八幡平市高畑



道路が狭いので
おすすめのコースを！

おすすめのコース
安比川の川音、風の音を
聴きながらのサイクリング。

八幡平のワースポット
桜松神社、不動の滝

新安比温泉静流閣

サイクリングのあとは、新安比温泉の金の湯でゆっくりと。メタホウ酸を多く含んだ強塩泉は全国的に珍しく、湯上がりはつるつるの肌に。
新安比温泉静流閣
八幡平市叭田43-1
TEL 0195-72-2110



サイクリングを楽しみながらグルメ&ショッピング 1 荒屋新町の職人たちを訪ねる



羽沢耕悦商店 伝統の技でつくる焼麩

地元の人々に愛されてきた「羽沢耕悦商店」の焼麩は、すべて店主の手仕事。1本ずつ炭火で手焼きした焼麩は、長時間煮ても崩れず、もちっとした食感が特徴。すき焼きや煮物にもお勧め。

- 八幡平市清水140-6
- TEL 0195-72-2353
- 営業時間 / 9:00~18:00
- 定休日 / 無休

味噌汁や
酢のものにもどうぞ

「南部手焼き板麩(570円・税込)は水に戻さず、そのまま使える焼麩。」



塩味の薄焼きせんべいとチョコレートの甘さが絶妙の「チョコサンド(648円・税込)」。



箸の絵付け体験は事前予約(2日前まで・受付人数2~20名)、体験料は1名2,750円(税込)、対象は小学生高学年以上。

- 八幡平市叭田230-1
- TEL 0195-63-1065
- 営業時間 / 9:30~17:00
- 定休日 / 月曜(祝日の場合は営業)、年末年始 ※不定休あり

羽沢製菓 子どもも大好き 「チョコサンド」

南部小麦の風味を生かした「南部せんべい」は、胡麻や落花生、ピーナツなど種類が豊富。薄焼きせんべいでチョコレートを挟んだ「チョコサンド」も人気。季節限定の抹茶味を7月から発売。

- 八幡平市清水141-5
- TEL 0195-72-3020
- 営業時間 / 7:00~19:30
- 定休日 / 不定休

安比塗漆器工房 安比塗の絵付け体験で箸づくり

世代を超えて使える安比塗の漆器。工房では椀や皿などを展示販売しているほか、絵付け体験を行っている。箸に筆やスポンジを使って模様を描き、自分だけの箸をつくることができる。

あしろグルチャリの楽しみ方

サイクリングをしながら協賛店で買い物をしたり、スイーツを食べたり。ポイントを集めて、新安比温泉静流閣売店で利用できるお買い物券をもらおう。

- 参加特典**
- 1 麴屋もとみやの「みそソフト」もしくははふうせつ花の「ざるおぼろソフトクリーム」の無料券をプレゼント
 - 2 新安比温泉静流閣「入浴割引券」

- 発着地 / 新安比温泉静流閣 フロント ■利用時間 / 9:00 ~ 17:00 ※荒天時は貸出を中止します
- 利用料金 / ●半日500円、1日800円 ※ただし新安比温泉静流閣の宿泊者は無料 ※そのほか、自転車保険料200円別途
- 予約・申込先 / 新安比温泉静流閣フロント 八幡平市叭田43-1 TEL 0195-72-2110





自然と一体感を得られる 高原サイクリング

ロッジタンDEM

- 八幡平市細野333-7
- TEL 0195-72-5219
- 体験料金／
 - 3時間5,000円
 - 半日ツアー10,000円～(平日・コース等応相談)
- ※10月からは「紅葉のサイクリング」を催行予定

最新情報は
こちらで



EMTBは体力や脚力のない人も楽しめ、急坂も山道も安定して走ることができるため、体力をさほど使わない。だから、1000年草原が広がる中のまきば、美しいブナ二次林といった安比高原のすばらしい景観を見る余裕ができるという。

安比高原のブナ林を EMTBで走る

EMTB(電動アシストマウンテンバイク)で安比高原へサイクリング。「ロッジタンDEM」では、6月25日から9月末まで「深緑のブナ林とマザーツリーサイクリング」の体験ツアーを催行している。



サイクリングを楽しみながらグルメ&ショッピング **2**

あしろグルメを満喫する



上、「焼きおにぎり」は1個185円(税込)。下、「麴屋シュー(1個285円・税込)」は冷凍販売(解凍は冷蔵庫で約6時間)。



麴屋もとみや 焼きおにぎり 元気いっぱい

国道282号を走るサイクリストに定評という「焼きおにぎり」。味噌の香ばしい匂いがする焼きおにぎりの中に入っているのは、2年仕込みの味噌で漬けた味噌大根だ。おみやげには味噌を隠し味にした「麴屋シュー」をどうぞ。

- 八幡平市寺志田165-28
- TEL 0195-72-3663
- 営業時間/9:30~16:30
- 定休日/木曜、年末年始



ざるおぼろ豆腐でつくった「ざるおぼろソフトクリーム(350円・税込)」。濃厚なのに甘さ控えめで、ワッフルコーンとの相性も抜群。



原料にも味にも手抜きなしの「自家製小倉あんサンデー(380円・税込)」。

ざる豆腐と湯波 ふうせつ花 おかわりしたくなる絶品スイーツ

リピーターが多い「自家製小倉あんサンデー」は、白いげんのあんのの上にざるおぼろソフトクリーム、最後に小倉あんをたっぷりとトッピングしたもの。ソフトクリームは甘さ控えめで、小倉あんとおあんととのバランスが絶妙。

- 八幡平市保戸坂236
- TEL 0195-72-8008
- 営業時間/10:00~18:00(12月~2月10:00~17:30)
- 定休日/不定休



「ハンバーグ満喫ビッグセット(1,500円・税込)」のソースは和風、トマト、イタリアンの3種類。ランチタイムは、ドリンク付き。

カフェレストラン ぱぱなっしゅ 250gハンバーグでおなかも心も満足

手づくりハンバーグやスパゲティが評判の店。サイクリング中だけど、がっつり食べたいときに注文したいのが「ハンバーグ満喫ビッグセット」だ。250gものハンバーグとライスの大盛にサラダ、味噌汁がついてボリュームたっぷり。

- 八幡平市保戸坂55
- TEL 0195-72-5159
- 営業時間/11:30~14:30、17:00~19:30(夜は要予約)
- 定休日/月曜

八幡平に生きる人

八幡平には、いろんな人がいて、いろんなことを考えている。共通するのは、「こころって、いいまちだよわ。」暮らしてこそわかる、八幡平の魅力とは――。

ワーケーションを通して 人と地域をつなぐ温泉旅館に

新安比温泉静流閣 橋本英子さん



新安比温泉静流閣の温泉は、全国的に珍しい強塩泉。その湯を守りたい橋本英子さん。

「ご主人とともにスーパーやレストランを経営していた橋本英子さんが「新安比温泉静流閣」の女将になったのは、子育てが一段落した51歳のときだった。「義父から『明日から旅館経営をするように』と言われたのです。もともと継ぐ予定がなかったのですが、旅館業の知識がなく、ゼロからのスタートでした」

従業員と同じ制服を着て現場を覚えることから始め、それと同時に新安比温泉が抱えている課題を洗い出していた。

「とにかく10年はがんばらうと思います」と英子さん。旅館の女将が集まる会合や研修会にも積極的に参加。旅館や旅行の流れを掴んだ英子さんは、1年目のロビーを手始めに露天風呂、りんどう館特別室、レストランと次々にリニューアルした。

「そして、これからというときに東日本大震災です。震災を乗り越えたとしたら、今度は新型コロナウイルス禍。今回はこれまで

にないほどの打撃を受けました。ツアー客は以前の数に戻らないでしょう。それならば、新しいことを考えなければ……」

着目したのは、リモートワークの普及とともに変化した働き方だ。ビジネス客の利用が多かったあじさい館を経済産業省の事業再構築補助金を活用し、ワーケーションルームに改修。さらにレストランをコワーキングスペースとし、ビジネス会議用の55インチモニターと100インチスクリーンを設置。少人数のワーケーションからグループ会議まで対応できるようにした。ワーケーションルームは女性1名の利用も想定している。

「とても疲れて、ひとりで休みたいけれど、メールを確認して仕事をしなくてはならない女性が意外といらっしやいます。そういう方も快適に仕事をしながら、リフレッシュできる場をつくりたいと思ったのです」

ひとりで休みたい経験は英子

さんにも覚えがあった。そのようなときに食べたい夕食として「あしろ美食御膳」を考案した。温泉旅館を経営するようになって、観光のことも考えるようになったという。「旅館に泊まって終わりではなく、安代をまるごと楽しめる仕組みをつくり、八幡平市外へも情報を発信していきたい」と意欲的である。

はしもとひでこ

1957年(昭和32)釜石生まれ。県立釜石南高等学校(現・釜石高等学校)卒業。1983年(昭和58)、結婚のため安代町(現・八幡平市)に移住。2009年(平成21)から「新安比温泉静流閣」の女将に就任。いわておかみ会会長。

■新安比温泉静流閣

八幡平市呷田43-1
TEL 0195-72-2110



ふうせつ花の豆腐や湯波がメインのヘルシーな「あしろ美食御膳」。肉や魚を使っていないためベジタリアンにもお勧め。

1 新型コロナ禍の影響により利用機会が減ったレストランを生かし、コワーキングスペース「結 Yui」を整備。会議の場としても利用できる。2 あじさい館の和室をワーケーション向けの部屋に改装。座り心地のよいデスクチェアやソファ、シモンズ製ベッドを用意し、快適空間をつくり上げた。3 ウェブ会議を想定して防音性の高い壁にし、セキュリティの高い高速インターネット回線を導入。





辻亜弥先生の
りんごとれもんの甘酒ソルベ

材料を混ぜるだけの簡単お手軽デザート。
リンゴの風味の先に感じられる甘酒の優しい甘み、
さわやかなレモンの香りも広がり、
暑い夏のスイーツとしても最適。



- 材料(2人分)**
- 麴屋もとみやの麴屋のれもん甘酒 50g
 - リンゴ(皮をむいてすりおろしたもの) 50g
 - プレーンヨーグルト 50g
 - 山本養蜂場のはちみつ(アカシア) 小さじ1 (お好みで)
 - 国産レモン(果汁と皮に分けて) 1/4個
 - WILDGRAPE FARMの山ぶどう塩 適量
 - 羽沢耕悦商店の炭火焼南部手焼丸麴 (割ったものをスプーンとして) 適量

- 作り方**
- ①リンゴは皮をむいて芯を取り除き、すりおろす。レモンを搾って果汁を加える。そこにれもん甘酒とプレーンヨーグルト、はちみつを加えて混ぜる。これを冷凍用保存袋の中に入れて、口を閉めてからよく揉む。
 - ②袋の中で平らに広げた状態で冷凍庫に入れて2時間ほど冷やす。取り出して、袋の上から揉むようにして、滑らかになるよう再度冷やし固める。
 - ③約半日ほどかけて②を2~3度繰り返したら、よく冷やしておいた器に盛り付け、上からレモンを削りかける。お好みで山ぶどう塩を振ってもサッパリして美味。丸麴を割ったものをウエハースの代わりに添えて完成。丸麴をスプーン代わりにしてすくって食べる。

「八幡平レシピ」で使用している
八幡平市の食材・特産品は、
「ハチクラCLUB」から購入できます。

ハチクラCLUB



■ 撮影協力 / フードコーディネーター・近藤祐子(地産地消レストラン&ペンションスターダスト)

八幡平レシピを愉しむ宿泊プラン
撮影のためにレシピを再現した「地産地消レストラン&ペンションスターダスト」では、今回の料理が味わえる宿泊プランをご用意。詳細は、スターダストまでお問い合わせください。
地産地消レストラン&ペンションスターダスト
■ 八幡平市安比高原167-17 ■ TEL 0195-73-5132 ■ 八幡平レシピを愉しむ宿泊プラン / 平日1名16,500円~(税込・1室2名利用の場合)

食卓を彩る 八幡平レシピ

八幡平市では、数多くの食材、特産品がつくられている。
それらを使ったレシピを料理家の皆さんが紹介。
誰でも楽しくつくれる料理なので、ぜひお試しを。



石橋絵理先生の 玄米塩麴ソースでいただく和風ローストビーフ

パーティー料理としても人気のローストビーフをフライパンひとつで簡単に。
フライパンに残った肉汁と玄米塩麴とはちみつで作った旨味たっぷりの和風ソースを添えて。

- 材料(2人分)**
- 八幡平牛もも肉塊 200g
 - 塩・胡椒 適量
 - 麴屋もとみやの麴屋の玄米塩麴 大さじ1/2
 - 山本養蜂場のはちみつ(トチ) 大さじ1/2
 - 酒 大さじ1
 - 酢 大さじ1/2

- 作り方**
- ①八幡平牛もも肉に塩・胡椒を振り、フライパンにオリーブオイルを入れ強火で熱し肉を焼いていく。途中焦げそうなら中火にし、ひっくり返ししながら全面にしっかり焼き色がつくように押しつけながら焼いていく。
※肉の厚みによって違ってくるが、触った硬さで半分くらいまで火が通っているようならよい。
 - ②肉をアルミホイルに包み、さらにタオルなどで包み余熱で火を通していく。
 - ③そのままのフライパンで、焼いたときに出た肉汁にAと酒を入れアルコールを飛ばす。酢を入れ、トロツとなるくらいまで中火で煮詰める。
 - ④肉を薄く切り皿に盛りつけ、クレソンを飾りソースをかける。
※撮影時はペビーリーフを使用。

5 ローソン八幡平安代インター店



清涼感ある「アイスコーヒー(Mサイズ150円(税込))」でひと休み。

■ 八幡平市清水70-1 ■ TEL 0195-72-3645
■ 営業時間/24時間 ■ 定休日/無休

ローソンといえば「マチカフェ」。ピターなコーヒー感と甘みが残る「アイスコーヒー」は、さわやかな飲み口で、後味もすっきり。そのほか、スポーツ飲料はもちろん、小腹を満たすスイーツや軽食もいろいろ。

4 麴と味噌勝田屋



自家製みそで漬けた「みそ大根(378円・税込)」。

暑くなり食欲が落ちたとき、みそ大根を刻み、白ごはんに乗せ、水か白湯をかけたものが食べたくなる。それこそ、みそ大根のおにぎりもだ。勝田屋の「みそ大根」は大根を味噌で二度漬けたもの。口の中で味噌の深い香りが広がっておいしい。

■ 八幡平市荒屋新町124 ■ TEL 0195-72-2032
■ 営業時間/9:00~18:00 ■ 定休日/無休

1 田鎖畳店



先代から使っている穀類膨張機で作る「ドン菓子(1升1,000円・税込)」。

米に圧力をかけてから一気に解放して、ふんわりと膨らませる「ドン菓子」。「ドン!」と大きな音を立てて米が勢いよく弾けることからこの名前がついたという。田鎖畳店では、ドン菓子の他にミニ畳作り体験(2,000円・税込)ができる。体験は事前予約。

■ 八幡平市荒屋新町35 ■ TEL 090-1497-9619
■ 営業時間/8:30~18:00 ■ 定休日/無休



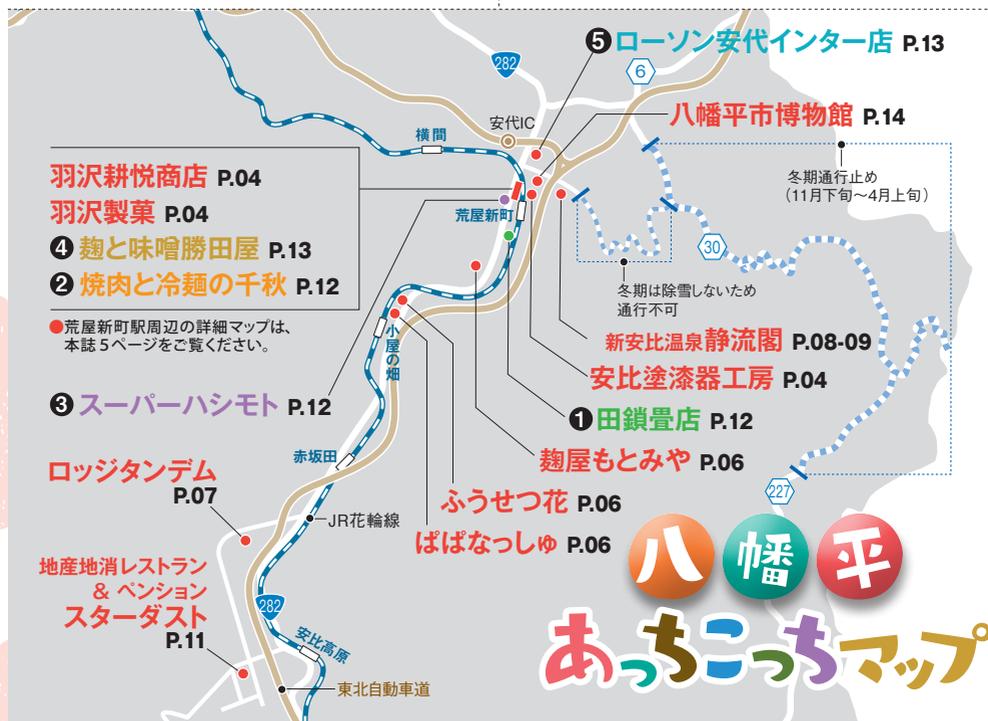
あっちこっち

八幡平

気になるあの店この店



店をはしごしながら
あしろをサイクリング



3 スーパーハシモト



惣菜は、求めやすい価格で提供。

■ 八幡平市荒屋新町55 ■ TEL 0195-72-3401
■ 営業時間/8:00~19:30 ■ 定休日/無休

生鮮食品から酒、日用品までそろそろ。手作り惣菜コーナーが好評で、夕食や弁当の一品として購入する人も多い。地ビール「ドラゴンアイ」も販売しているので、宅飲みにもお勧め。木曜には、盛岡市の「福田パン」も並ぶ。

2 焼肉と冷麺の千秋



「冷麺」は普通盛が700円、大盛が800円(全て税込)。

注文を受けてから麺を手打ちする「冷麺」が人気。特徴は甘みと酸味が絶妙なバランスを醸し出しているスープと季節で変わる果物。冷麺をアレンジした「中華冷麺(700円・税込)」は、細い縮れ麺とスープの絡み具合がこのほかよく、箸が進む。

■ 八幡平市荒屋新町118-5 ■ TEL 0195-72-2634
■ 営業時間/11:30~13:30、17:00~20:00
■ 定休日/日曜・祝日

ハチクラ vol.33
読者アンケート

問1

「ハチクラ」をどこで入手しましたか？

問2

本誌を入手した動機は何ですか？（複数回答可）

- 1 表紙に惹かれたから
- 2 内容がおもしろそうだから
- 3 八幡平市の観光に興味があったから
- 4 地元の情報を知りたかったから
- 5 無料だったから

問3

今号の記事でおもしろかったものを挙げてください
（複数回答可）

- 1 特集「夏はASHIRO Cycling!」
- 2 八幡平に生きる人
- 3 食卓を彩る「八幡平レシピ」
- 4 八幡平あっちこっち
- 5 ハチクラ通信（読者の声・プレゼント）
- 6 ピッキーと行く八幡平

問4

「ハチクラ」へのご感想・ご意見をお書きください

今号の「ハチクラ」はいかがでしたか？
今後、充実した内容にするため、
皆さまの声をお聞かせください。

プレゼント

本ページのアンケートに回答して下さった方に
抽選でプレゼント！ふるって応募してください。

1

新安比温泉静流閣

あしる美食御膳プラン
宿泊半額券 ペア券



1名様

2

ふうせつ花・麴屋もとみや

ふうせつ花の「ざるおぼろソフトクリーム」と、
麴屋もとみやの「みそソフト」
無料券



5名様

次号のハチクラ vol.34は
2022年9月25日発行予定

八幡平をもっと
楽しむためのフリーマガジン **ハチクラ**

2022.vol.33 令和4年6月25日発行

企画・発行・問い合わせ先 八幡平市商工会
岩手県八幡平市大更35-63-85 TEL 0195-76-2040
https://www.shokokai.com/hachimantai/

編集・取材・文/三宅真由美 デザイン/青木哲哉
撮影/大谷広樹 印刷/川口印刷工業株式会社

■本誌に掲載している情報は、2022年6月10日現在の
ものです。発行後のデータ等が変更になっている場合
があります。あらかじめご了承ください。
■本誌掲載の記事・写真等の無断掲載を禁止します。

プレゼント & アンケートの応募方法

官製はがきに以下のことを記入し、ご応募ください。
webフォームやFAXでも応募OK!

- ① ご希望のプレゼント（ご希望の品名をご記入下さい）
- ② アンケートの回答（問1～問4）
- ③ 住所・氏名・年齢・電話番号

■ 送り先

〒028-7111 岩手県八幡平市大更35-63-85
八幡平市商工会「ハチクラ」係

■ FAX 0195-76-2145

■ webフォームからもご応募できます
http://bit.ly/3GAJTD5

■ 応募締切

2022年8月26日(金) 当日消印有効

当選は商品の発送をもって代えさせていただきます。
今回ご記入いただいた個人情報は、八幡平市商工会の個人情報保護
方針に基づき、責任をもって管理します。本人の同意を得ずに第三
者に開示することはありません。



読者の声

ハチクラ32号に寄せられた
読者からのコメントを紹介。

● 小学校の修学旅行で松川地熱発電所
に行ったきりです。イベントを開催し
たり、特産品に利用されたりしている
ことを初めて知りました。ぜひ見に行
きたいです。
(釜石市 I・H)

● 「地熱って何？」と思い、50年以上
も前からそんな画期的な発電所がある
ことに驚きました。
(宮城県 O・K)

● 山ぶどう塩や松川温泉のおいしいそう
な温泉卵など、とても惹かれる内容で、
暖かくなったらぜひ行きたいなと思
いました。また、地熱の町というのも知
らず、いつかジオフェスティバルにも
行ってみたいです。
(花巻市 A・S)

● 夫婦共に県外出身。八幡平市の知ら
ないことが載っていて毎号楽しく読ん
でいます。「ハチクラ」と「八幡平スタ
ンラリー」のおかげで、市内のスポッ
トや飲食店にもだいぶ慣れることがで
きました。
(八幡平市 Y・M)

● 「ハチクラ通信」に、県外の方の
声も載っていて、なんだかうれしくな
りました。全国に八幡平市の魅力が届
きますように。
(盛岡市 T・A)

会員募集中!

「ハチクラFANCLUB」は公式ファ
ンクラブとして、ハチクラの活動を応援
することを目的にした、ハチクラファン
のためにメンバーを募集します。ハチク
ラの活動を応援しようという方ならど
なたでも加入できます。

■ 入会費・年会費は無料

■ 特典

- ① ハチクラの最新号をお手元にお届けします。
- ② ハチクラツアーなどのイベントをご案内します。

■ 入会方法

希望の方は、メールでのみ受け付けます。
件名に「ハチクラメンバー希望」、メール本文に
住所、氏名、年齢、職業、メンバー希望動機を記
入し、送信してください。確認後、2～3日中に
メールを返信します。

送信先 hachikurafan8@gmail.com

Just listen!

back number

バックナンバーのご案内

「ハチクラ」バックナンバーのお求めは、
下記までご連絡ください。
送料のご負担をお願いいたします。

連絡先

八幡平市商工会
TEL 0195-76-2040
(受付時間/平日9:00～17:00)



今月の「ハチクラスポット」

八幡平市博物館

八幡平市の歴史や文化などをテーマにした資
料を展示。農作物の収量を上げ、安代の暮らしを
豊かにするために作ら
れた「田山暦」もあり、
当時の様子を垣間見る
ことができる。ミュー
ジウムグッズも人気。



- 八幡平市吹田230 ● TEL 0195-63-1122
- 開館時間/9:00～16:30(入館は16:00まで)
- 入館料/大人210円、中学生以下無料
- 休館日/月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始

ビッキーと行く八幡平

「夕方の河畔をサイクリング」

撮影地／安比川



撮影
三浦 学

WILDGRAPE FARM、ORCA DESIGN 代表

「おとっと〜」夕方の安比川の河畔をサイクリング。初めての自転車でフラフラなビッキーだったけれど、いつもながらすぐに慣れちゃうところがすごい！ 普段と違う高さの目線で新しい発見はあったかな？



●ビッキーとは、八幡平市の非公認マスコットキャラクター。その正体は、樹上で暮らす森の住人・モリアオガエル。「大湯沼とモリアオガエル」は国指定の天然記念物です。